



[学習会]

齊藤武一さんの「風力発電紙芝居」 「風車」と「地形」と「低周波音」

「原発紙芝居」の齊藤さんは、低周波音により体調不良に。この体験をもとに作った紙芝居を通して風力発電について考えます。

風車から発生する低周波音の伝わり方は、周辺の地形に強く関係します。7/30に小樽市で、8/20には仁木町で、それぞれの地域で計画されている風力発電事業について、地形を考慮して影響の予測をした紙芝居を制作・上演しました。

石狩湾の水深などを調べると、とても浅い海であることが分かりました。それで、洋上風車に石狩湾が狙われました。石狩市・当別町についても、地形から低周波音の影響を考えます。

・日時：2022年9月25日（日）14:00～16:00

・場所：石狩市花川北コミュニティ
センター 2階 視聴覚室



石狩市花川北3条2丁目1番地

☎[0133-74-6525](tel:0133-74-6525)

・講師：「泊原発の廃炉を求める訴訟」原告団長
齊藤武一 氏



・費用：500円（資料代ほか）

齊藤武一さんの自己紹介

1953年岩内町生まれ。元保育士（障がい児保育20年担当 元岩内町役場職員）。「故郷の海を守りたい」と、泊原発の温排水の影響を調べるため1978年、25歳から、岩内港の防波堤にてバケツで海水を汲み、海水温を測定する。温排水で、岩内湾の海水温が上昇していることを明らかにする。今年で、観測45年目となる。



44歳から、風車の勉強を始めて25年となっている。

「がん」の調査も行い、泊原発の運転後、北海道で一番、「がん」が多発しているのは、泊村と岩内町であることを突き止める。

主催・問合せ：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会 安田 携帯 090-6211-1602

<https://windturbine.lbcc-alumni.jp/index.shtml>

HPをぜひご覧ください。海外の動画なども見ることが出来ます。